

採用選考案内（参考資料）

南房総市社会福祉協議会では、「みんながつながり支え合う みんなにやさしいまちづくり」を目指し、地域福祉、福祉相談及びボランティア活動などを支援する業務に従事する職員を募集します。

～南房総市社会福祉協議会の業務とは～

「地域福祉」とは、福祉や保健などの多様な生活課題に地域全体で取り組む仕組みづくりです。社協職員は、地域の方々や福祉関係団体の方々と一緒に課題を話し合い、その課題解決に向けて一緒に活動します。

「福祉相談」とは、困り事を抱えた人やその世帯に対して、関係（専門）機関と連携しながら、自立に向けてサポートすることです。地域には、生活困窮者（生活保護受給に至る前の段階で自立生活を送れるよう支援を必要とされている方）や権利擁護を必要とされる方（寝たきりや認知症の方で身の回りのことや金銭管理が行えない方）などがいます。社協職員は、誰もが自分で生まれ育った地域で自立した生活を送れるようにサポートします。

社会福祉協議会では、地域で活動している個人・団体の「ボランティア活動」の支援を行っています。現在、南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターには、48団体（延べ610人）の登録があり、各団体が様々な分野でボランティア活動を行っています。市では、高齢者の方々の孤立を防ぐため、「サロン活動（ふれあいの居場所づくり）」を推進しており、その運営にも多くのボランティアが携わっています。高齢者人口が47.99%となる南房総市では、地域での支え合い活動が必要不可欠です。社協職員はその活動をサポートし、みんながつながる地域をつくるため活動します。

令和元年台風15号により、市内では甚大な被害が発生しました。社会福祉協議会は、「災害ボランティアセンター」を開設し、ボランティアによる屋根のブルーシート張りや瓦礫撤去などの活動を支援しました。

現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、緊急的・一時的に生活維持が困難になったの方々に対し、社会福祉協議会は、生活福祉資金の貸付けの窓口として活動するとともに、その後の生活再建に向けた支援を続けています。

社会福祉協議会は、地域住民の皆さんに寄り添い、誰もが生まれ育った地域でいつまでも安心して暮らしていけるように、また、有事の際には、地域住民の日常生活を早く取り戻せるように、地域住民の方を支援する活動を行っています。